

安全の為に必ずお守りください

警告

●製品を取付ける時は、必ず取扱説明書等に示している指示を守ってください。またその際、シマノ純正部品の使用をお勧めします。
ボルトまたはナット等が緩んだり、製品が破損すると、突然に転倒して怪我をする場合があります。

●自転車のブレーキは、製品のモデルによって取扱いが多少異なることがあります。したがって、ブレーキレバーへの入力や自転車の操作特性などを含め、個々の自転車のブレーキ系統の適切な操作を充分理解し慣れるようにしてください。
ブレーキ系統の操作が適切でない、自転車のコントロールを失い事故のもとになり、また大怪我を招くこともありません。適切な操作については、自転車専門店にご相談いただき、また自転車の取扱い説明書もよくお読みください。ご自分の自転車にお乗りになって、ブレーキ操作などを練習していただくことも大切です。

●このブレーキレバーには、カンチレバーブレーキ・ローラーブレーキまたはパワーモジュラー付Vブレーキに対応するモード切替が装置されています。
このモード選択を誤った場合、極端な効きすぎや制動力不足をひき起こす可能性があります。大変危険です。下記のモード切替表に従いモード選択を実施してください。

モード位置	対応ブレーキ本体
C・Rの位置	<ul style="list-style-type: none"> カンチレバーブレーキ ローラーブレーキ
Vの位置	<ul style="list-style-type: none"> パワーモジュラー付Vブレーキ

モード切替付ブレーキレバーは、上記の組合せでご使用ください。
●取扱説明書はよくお読みになった後、大切に保管してください。

注意

レバー操作は必ず1段階ずつ変速し、ペダルの踏力を弱くして行ってください。強くペダルを踏んでいる時に、無理やり変速レバー操作をすると、足がついていかずペダルから足を踏みはずして、転倒事故につながる場合があります。

使用上の注意:
通常の使用において自然に生じた摩耗および品質の劣化は保証いたしません。

SI-65R0C-001

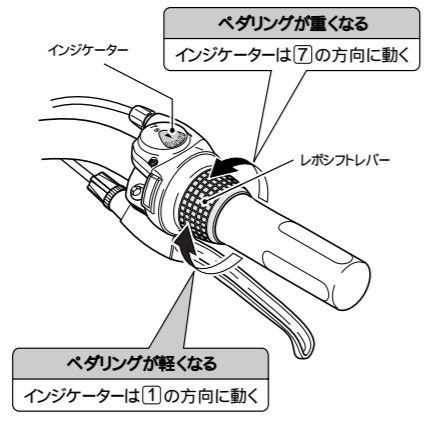
SB-7S45 レボシフトレバー
BL-IM45 ブレーキレバー
CJ-NX10 カセットジョイント



インター7ハブに添付されている取扱い説明書も合わせてよくお読みください。

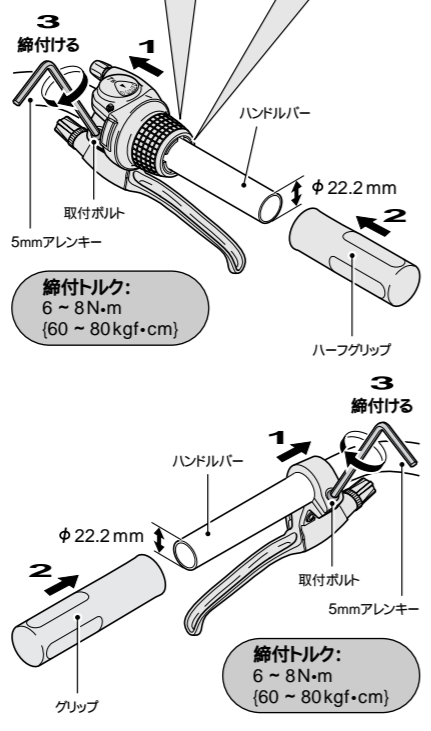
レボシフトレバーの操作方法

手元のレボシフトレバーを回して1段階ずつ変速させます。



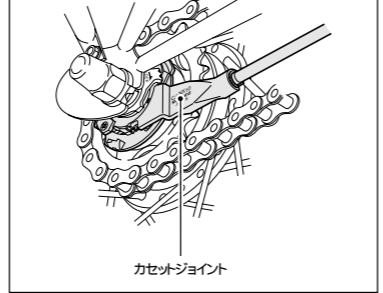
レバーの取付け

図のようにレバーをセットします。
シマノハーフグリップを使用の場合は、ハンドルバーのストレート部が157mm以上あること。なお、レボシフトレバーはこのストレート部にセットします。
レボシフトレバーとハーフグリップの間に、0.5mmのすき間をあけます。

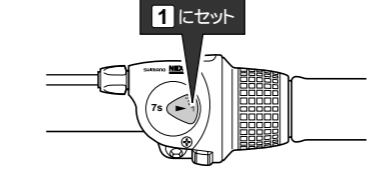


**フレームから後車輪を取外すときの
変速用ケーブルのはずし方**

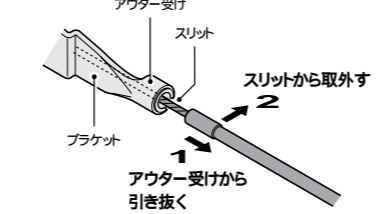
フレームから後車輪を取外すときには、カセットジョイントからケーブルを取外してください。



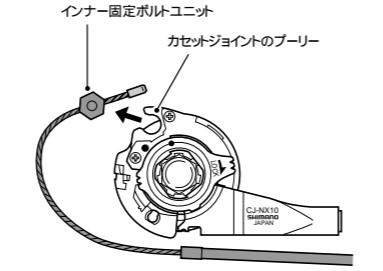
1. レボシフトレバーを①にセットします。



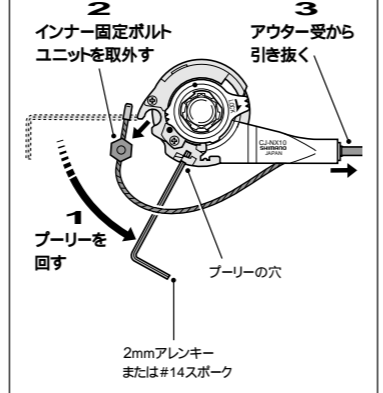
2. カセットジョイントのアウト受けからアウトケーシングを引き抜き、ブラケットのスリットからインナーケーブルを取外します。



3. カセットジョイントのプリーから、インナー固定ボルトユニットを取外します。



もしカセットジョイントのアウト受けから、アウトケーシングを引き抜きにくい場合は、カセットジョイントのプリーの穴に、2mmアレンキーまたは#14スポークを差し込み、プリーを回してインナーケーブルをたるませ、先にプリーからインナー固定ボルトユニットを取外し、その後アウト受けからアウトケーシングを引き抜きます。



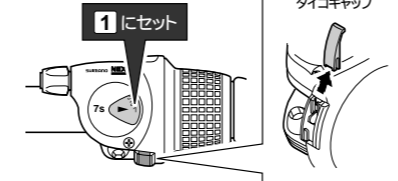
ご注意:
再度ケーブルを取付ける場合は、「変速用ケーブルの取付け」の項目の8～10を参照してください。

変速用ケーブルの取付け

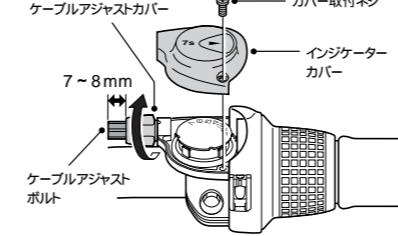
変速用ケーブルは、片エンドケーブルをご使用ください。
片エンドケーブル / SIS-SP40 (φ4mm)

レボシフトレバー側

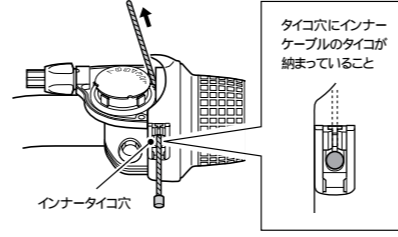
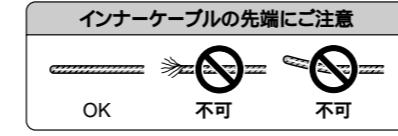
1. レボシフトレバーを①にセットします。次に、レボシフトレバーのタイコキャップを図のようにスライドして取外します。



2. ケーブルアジャストカバーを回し、ケーブルアジャストボルトを7～8mm出しします。その後、カバー取付ネジをゆるめ、インジケータカバーを取外します。

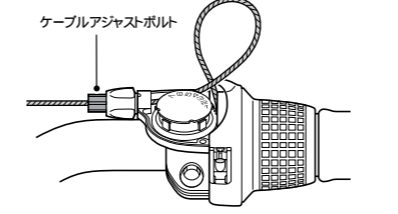


3. インナーケーブルをレボシフトレバーのインナータイコ穴に通し、インナーケーブルのタイコがタイコ穴に納まるように、インナーケーブルを引張ります。

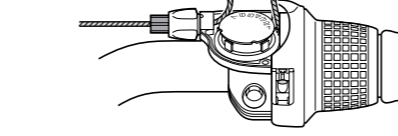


4. インナーケーブルをケーブルアジャストボルトの穴に通します。このとき、インナーケーブルが折り曲がらないように、注意しながらインナーケーブルを引張ります。

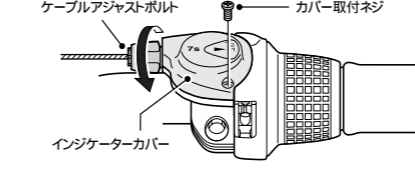
インナーケーブルが図のようになった時点でインナーケーブルを無理に引張らないこと



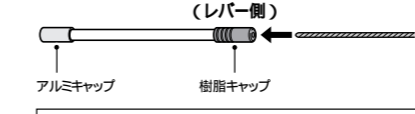
インナーケーブルが折り曲がらないように指で押込む



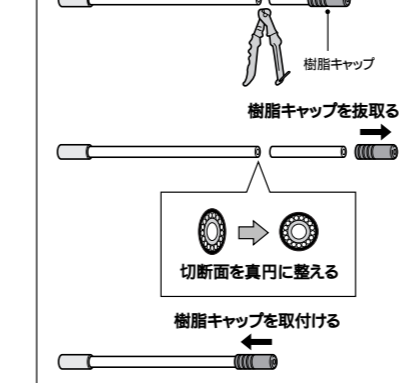
5. インジケータカバーをカバー取付ネジで取付け、ケーブルアジャストボルトを元の位置まで締付けます。



6. インナーケーブルをSIS-SP40アウトケーシングの樹脂キャップ側に通します。

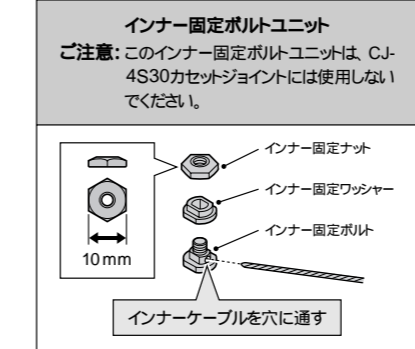


もし、アウトケーシングを切断する場合は、樹脂キャップ側をキャップを付けた状態で切断します。その後、切断面を真円に整え、樹脂キャップを取付けます。



カセットジョイント側

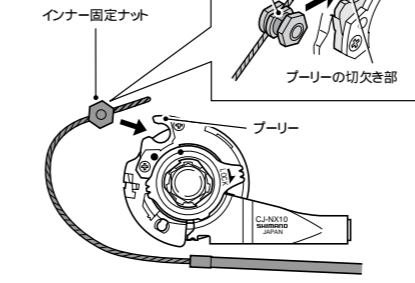
7. アウトケーシングの端が、レボシフトレバーのケーブルアジャストボルトに確実に納まっていることを確認した後、インナーケーブルに、インナー固定ボルトユニットを取付けます。



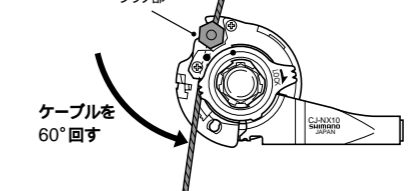
インナーケーブルを引張った状態で固定します。

締付トルク:
3.5～5.5N・m (35～55kgf・cm)

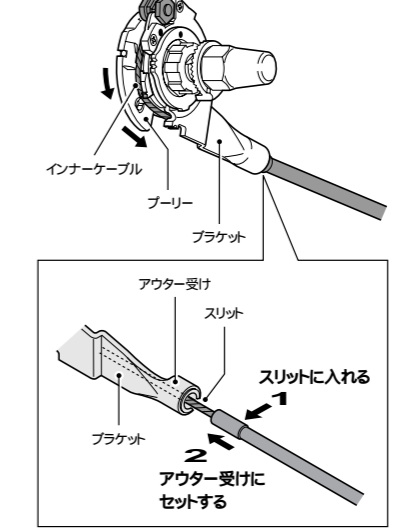
8. ケーブルをカセットジョイントのプリーまで回し、インナー固定ナットを外側(フォークエンド側)に向け、プリーの切欠き部に、インナー固定ワッシャーの二面幅部を入れます。



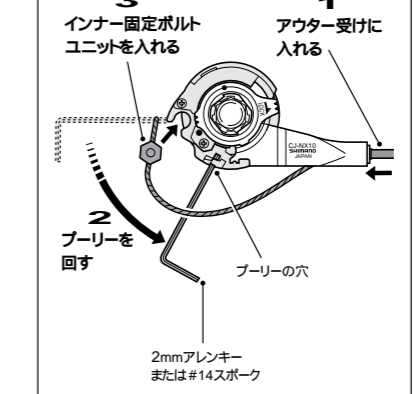
9. ケーブルを反時計方向に60°回して、フック部にセットします。



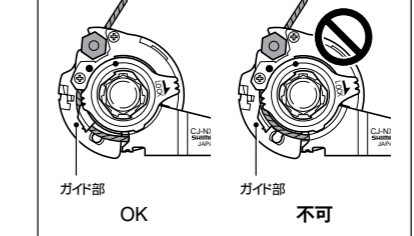
10. インナーケーブルをプリーに図のようにセットし、カセットジョイントのブラケットのスリットにインナーケーブルを入れ、アウトケーシングをアウト受けに確実にセットします。



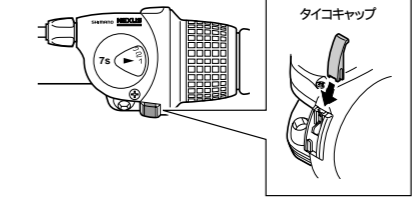
もし先にアウトケーシングをアウト受けに入れた方がやり易い場合は、アウトケーシングをアウト受けに入れ、その後プリーの穴に2mmアレンキーまたは#14スポークを差し込んでプリーを回し、インナー固定ボルトユニットをプリーの切欠き部に入れます。



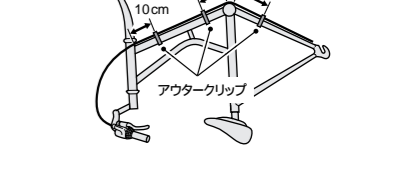
ご注意:
インナーケーブルがプリーのガイド部に正しく納まっていることを確認してください。



11. レボシフトレバーにタイコキャップを取付けます。

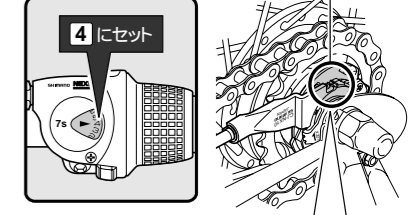


12. ケーブルをフレームにアウトークリップで固定します。

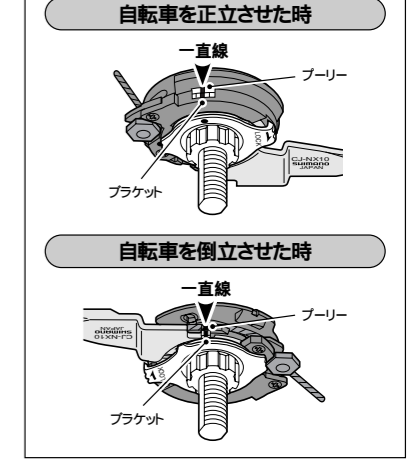


カセットジョイントの調整方法

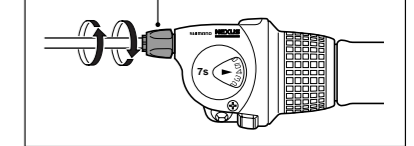
1. レボシフトレバーを動かして①④にセットします。この状態で、カセットジョイントのブラケットと、プリーのセッティングライン(赤色または黄色)が一致していることを確認してください。



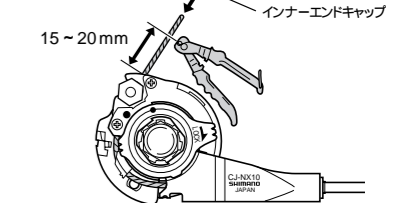
カセットジョイントのセッティングライン(赤色または黄色)は、上部と下部の2ヶ所にあります。見やすい方をご利用ください。



もしセッティングライン(赤色または黄色)が一致していない場合は、レボシフトレバーのケーブルアジャストボルトを回して、セッティングラインを合わせてください。その後、レボシフトレバーをもう一度④①へ、そして①④に動かして、セッティングライン(赤色または黄色)が一致していることを再度確認してください。



2. カセットジョイントの調整後、余分なインナーケーブルを切断します。その後、インナーエンドキャップを取付けます。



この取扱説明書は、ご購入された自転車に装着されているシマノ製自転車部品の取扱い方法を説明しています。ご購入された自転車及びシマノ製自転車部品以外に関するご質問は、ご購入先または自転車製造元へのお問い合わせをおすすめいたします。